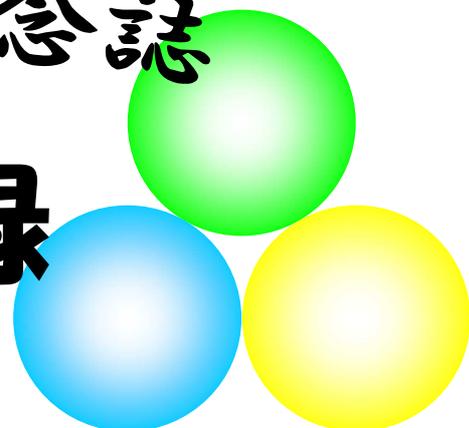


# 創立70周年記念誌

## 活動の記録



平成 29 年 11 月

横浜市港北区高田町内会

# 創立 70 周年を迎えて

## 会長の言葉



高田町内会  
会長 宮田寿雄

高田町内会の皆様そして高田町内会創立以来町内会を支えて頂きました関係者の皆様、創立70周年誠にありがとうございます。

心より御礼とお祝いを申し上げます。

ご案内の通り今年度の主な事業には、創立70周年という冠を付け取り組んでおります。70周年事業に取り組みながら、町内会活動を改めて見直しました。

もとより、会員の皆様は新聞を購読されていると思います。何新聞の？どこから？見えていますか？政治・経済・社会・芸能・スポーツ・テレビ番組欄等情報量の豊富な中で、興味の有るものを選んで見ておられる事と思います。町内会活動も同じように興味の有るものに参加する。それで良いと思いますが、町内会活動の情報量は少なく、毎年同様で、選択する状況に有りません。

組織の「標準化」に取り組み皆様からの要望がスムーズに届き、届けられる様にします。日常生活で出たテーマを情報として取捨選択し事業計画に取り込みます。

全員が対象の「防災」と言うテーマは有力な候補の一つと考えます。防災関係で自助・共助・公助という言葉をよく目にします。町内会活動の役割は「共助」の部分をもどる様に取り組むかにかかっています。

70周年を機に、会員の一人一人が町内会活動を考えるきっかけにして頂きたく書き記しました。会員の皆様よりご意見、ご希望が寄せ頂けましたら幸いです。

会員・住民がスクラムを組み、力を合わせ、安心・安全な地域を目指しましょう。

## 祝 70周年によせて



高田地区連合町内会  
元会長 大賀和夫

高田町内会創立 70周年おめでとうございます。

昭和 22 年 4 月とい

えば、戦後まもない荒廃とした、ただ中での高田地区における町内会設立という、戦後復興作業最初のみことに意義深い住民組織の、立ちあげであったと思います。

以来 70 年、現在の高田地区人口 18000 余名(当時は数千名程度)世帯数 8700 戸、このうち 60%強の世帯数を占めるのが高田町内会であります。広域にわたる町内会活動は、赤ちゃんから高齢者まで多岐に亘り、住民の意識も色々で会員の皆さんが満足出来る運営は、困難が伴うものです。今迄もこれからも大変なご苦労が待ち受けているものと思います。

どうぞこれからの高田町内会は、高田地区全体を常に見渡し、今後益々高齢者が増加するなかで、見守りや生活援護が必要となり、他の町内会・自治会と一緒に力を合わせ、高田地区の未来が皆で助けあいながら、安全で明るく楽しい地域となりますよう心より願っております。

末筆になりますが、高田町内会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

## —目次—

会長の言葉、お祝いの言葉	2	●	全体常会での講演	10,11
歴代会長、現組織、委嘱団体	3	●	会員の交流を願って	12,13
シリーズ「高田って どんどころ？」	4,5	●	福利厚生の一取り組み	14
安心・安全な地域づくり	6,7	●	「お祝い・弔慰・災害」規定	15
きれいな街づくり 憩える公園	8,9	●	年表、編集後記	16

※ 本冊子では、一部を除いて「高田町内会だより」に掲載した記事を転載・引用・抜粋編集し、筆者名は割愛しました。

## 町内会の概況 (敬称略)

### 歴代会長

代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間
1	小形 為蔵	S. 22. 4~24. 3	7	金子 幸男	S. 33. 4~35. 3	13	宮田 与一	H. 1. 4~16. 3
2	箕輪 快蔵	S. 24. 4~25. 3	8	相沢 嘉男	S. 35. 4~37. 3	14	小形 昭一	H. 16. 4~20. 3
3	白井 利助	S. 25. 4~27. 3	9	荏原 盛房	S. 37. 4~39. 3	15	中村 郁二	H. 20. 4~22. 3
4	関口健太郎	S. 27. 4~29. 3	10	中村 幸義	S. 39. 4~45. 3	16	内山 幹雄	H. 22. 4~28. 3
5	相沢慶太郎	S. 29. 4~31. 3	11	金子 延蔵	S. 45. 4~47. 3	17	宮田 寿雄	H. 28. 4~
6	荏原 盛房	S. 31. 4~33. 3	12	中村 幸義	S. 47. 4~H. 1. 4			

### 会員数

(平成 29 年 8 月 29 日現在)

区 別	会員世帯数	組・班数
1 区 (主に高田西)	1, 754	123
2 区 (主に高田東)	1, 289	103
3 区 (主に高田町)	341	25
合 計	3, 384	251

### 高田町内会理事 (平成 28~29 年度)

会長	宮田 寿雄
1 区副会長	北見 喜重
2 区副会長	相沢 一夫
3 区副会長	門屋 佳子
会計	松田 正邦
会計	鈴木 明
総務部長	箕輪 秀次
総務副部長	桜庭 昌
総務部	西井 隆
総務部	森田 直人
総務部	宮園 義人

総務部	小岩 純一
防火防犯部長	篠原 力
防火防犯部	村上 慶一
防火防犯部	田中 大祐
保健衛生部長	青木 繁義
保健衛生部	菅谷 幸子
福利厚生部長	斉藤 登
福利厚生部	吉村 篤
福利厚生部	大井 啓右
福利厚生部	市川 載憲
交通部長	田中 光年

体育部長	黒瀬 義孝
体育部	青木清二郎
体育部	芹田喜代治
研修所管理部長	古屋 靖夫
研修所管理部	橘 亨

### 監査 (平成 29 年度)

1 区 監査	新井 裕之
2 区 監査	田中 憲生
3 区 監査	碓氷久美子

### 委嘱団体委員

	民生委員児童委員	保健活動推進員	環境事業推進委員
1 区	・大場 貴子 ・古屋寿満子 ・竹田 和子 ・石川みち江 ・宮田 光明 ・青木久美子	・川島 幸子 ・鈴木 雅子 ・木坂 秀子 ・中尾なつ代 ・福原洋一郎 ・芹田 信子 ・西井 千春 ・鈴木三千代	・鈴木 昭吉 ・黒瀬 義孝 ・篠原 力 ・桜庭 昌
2 区	・芹田 武夫 ・矢野 泰秀 ・寺尾 眞喜 ・田中 貞雄	・市川 恭子 ・小堀 雄三 ・高野久美子	・斉藤 登 ・宮園 義人 ・松田 正邦 ・平田 清治
3 区	・三澤美恵子 ・高沢 芳正	・安達みな子 ・今井 紀子 ・渡辺トキ子	・菊川 眞良 ・門屋 佳子
任期	平成 29~31 年度	平成 29~30 年度	平成 29~30 年度

	スポーツ推進委員	青少年指導員	明るい選挙推進協議会推進委員	消費生活推進員	家庭防災員連絡員
1 区	・富本 正幸	・荒川 進孝	・古屋寿満子 ・桑名 孝治 ・高須 和男	・篠原よね子	・佐野あゆみ
2 区	・五明 弘子 ・飯田 司	・相沢 一夫 ・荏原 秀次 ・山口まどか	・須賀直比古 ・高橋 俊明	—————	—————
3 区	・北嶋 充	—————	・遠藤 照 ・神尾 実	—————	—————
任期	平成 29~30 年度	平成 28~29 年度	平成 29~30 年度	平成 29~30 年度	平成 29~30 年度

# 高田って どんなところ？

昭和30年代から高田地域の変化を「高田って どんなところ？」に掲載した一部をまとめました。

## 10年ひとむかし、50年前は？

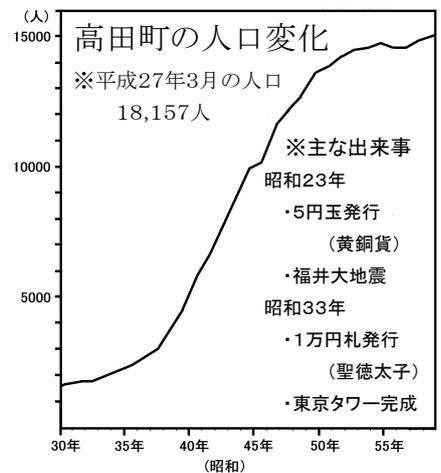
平成27年4月現在高田地区には小学校が2校、中学校が1校あります。昭和30年代の高田地区に小学校は1校で、各学年1クラス全学年6クラスでした。今ではとても考えられない小規模校でした。中学校は高田地区になく、お隣の新吉田地区にある新田中学校へ通いました。

交通網といえば昭和23年より運行していた綱島・荏田間のバス路線のみでした。昭和33年新城駅行きの路線が増えました。今では地下鉄も開通し、道路も整備され大変便利な地区になりました。

横浜市と言えば“ミナト”“おしゃれな街”という都会のイメージがあります。50年前は横浜市のイメージとはほど遠い高田地区でした。

人口の著しい増加とともに現在の高田地区が形成されました。

「高田町内会だより」第8号



グラフは「わたしたちのまち高田より」※印は追記

## ノスタルジア高田 S33！

昭和33年とは東京タワーが完成した年です。当時の高田町の人口は約二千人で現在の約八分の一。世帯数は約四百でそのうち農家は約3割。商店は倉田屋・カドヤ・藤田屋の3軒。鮮魚は行商人が廻って来ていました。

周辺の自然環境は、田畑・雑木林・竹林が混在。現在の「たつみ台住宅・天満宮第一住宅」の辺りには湧き水が多く、水辺にはオニヤンマ・沢蟹・蛍が見られました。その一部は「龍神の口」から流れ落ち「お不動様」が祀られ、避暑の遊び場になっていました。下流の小川にはメダカ・シジミ・モズク蟹等が生息していました。雑木林では、自然薯等が採れ、野兎等が見られました。

「高田町内会だより」第13号



港北区明細地図 S34 年度より

## 昭和30年代の高田

高田第四公園内にある”完成記念”の碑をご存知ですか。ここには、高田第一土地区画整理組合の名で、「区画整理の沿革」が次のように記されています。

「昭和35年頃になり当町も市街化してきたので、旧態依然の道路事情では近代的環境に対応できないであろう」と町民識者一同が考察し、区画整理をして目的を達成しようと「昭和42年着工水道ガス全域敷設、下水道の埋設」を計画して「十余年の歳月を要して完遂」とあります。

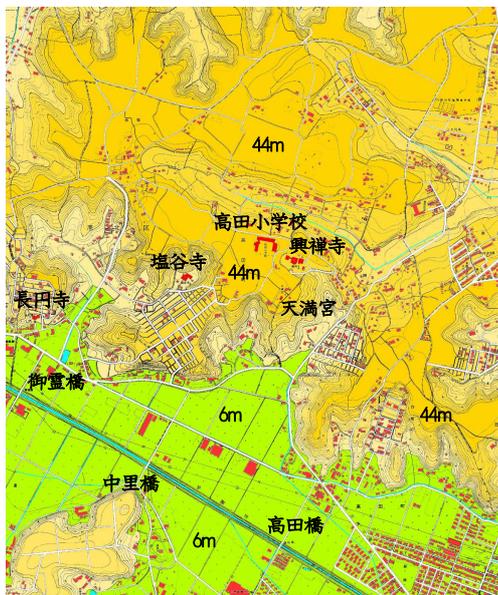
また、天満宮境内には横浜市港北区高田土地改良区沿革及び事業の概要が書かれた”完成記念”碑があります。散歩の折り等に立ち寄られて、碑文を読み当時の様子を想い描いたり、大事業の苦労に思いを馳せることも地域を知る良い機会と思います。

「高田町内会だより」第14号



## 昭和30年～昭和40年の高田

### 水田が広がる のどかな農村！



昭和38年頃の高田町

横浜市地形図複製承認番号平 28 建都計第 9119 号  
着色と挿入大文字は高田町内会広報委員会が実施

昭和31年に経済白書が出され「もはや戦後ではない」と言われ、高度経済成長が始まります。昭和39年には、東海道新幹線が開通、10月には東京オリンピックが開催されました。

この当時の高田町は、早淵川沿いに海拔約6mの平地が広がり、水田となっていました。昭和36年に6年生だった男性は、「家から松下通信（綱島街道）のシンボルタワーが見えた」と話しています。住宅地は東端部に「船員住宅」（現・高田町住宅親交会）があるのみでした。北西部は海拔約43mの台地で、住んでいる人たちは「山」と呼んでいた樹林帯でした。台地の上は、畑や水田でした。

民家とその他の建物は、主に台地の上と、台地から平地になるあたりに点在し、農家は主に米作り、野菜作りをしていました。

「高田町内会だより」第 15 号

## 地元の方や長くお住いの方のこぼれ話

昭和30年代は高田交差点経由、道中坂下方面に行くバスは、天満宮交差点を曲がり、倉田屋前に至る道を通っていました。その当時の高田交差点から倉田屋前までの直線道路（日吉元石川線）は水田の中央を通り、用水路が脇にありました。この用水路の水は塩谷寺などの谷戸から流れ込んでおり、早淵川の御霊橋付近に堰を作り、取り込んだりもしていました。堰では水深が深く水遊びをしていました。用水路にはシジミがおり、味噌汁にしていました。大小の池があちらこちらにありました。また雑木林もあり、薪拾いが行われていました。倉田屋前近くではラジウム泉がでており、今でもお風呂に使っているお宅があります。



バスが通っていた天満宮交差点西側

倉田屋さんと高田交差点にあったカドヤさんには、雨の日にバスに乗る人のためにぬかるみを履いてきた長靴を預かる下駄箱がありました。

「高田町内会だより」第 16 号

## 昭和40年以降の高田

### のどかな農村が 市街地に変貌！



高田駅前から高田交差点方面

昭和44年東名高速道路が全線開通。日本の工業化が進み、国民の生活は便利になった一方で、公害・環境問題が深刻な社会問題となりました。

そんななか東京の人口は急激に膨張し、まず綱島周辺で農地の宅地化が進みました。昭和40年代に入ると、高田の農地も急激に宅地化が進みます。更に昭和49年に完了した区画整理事業や、昭和50年代日吉元石川線の拡幅工事も終了したこと等により市街地化が進みます。この頃から今見るような高田の市街地化された風景になったと思われます。

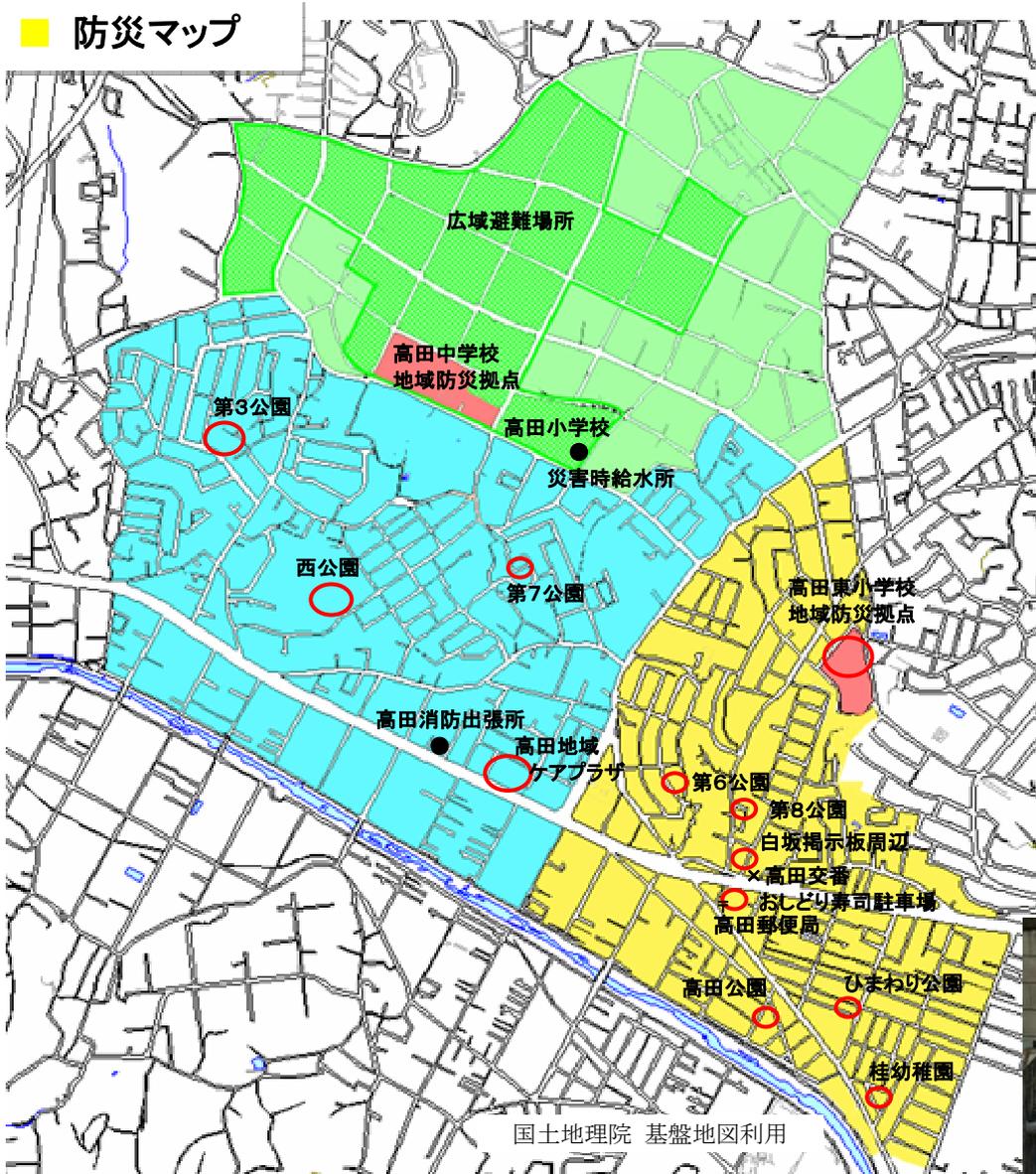
高田に生まれ今も住む男性は「こんなになるとは夢のよう」そして「のどかな自然がなくなり寂しい限り」とも話していました。

「高田町内会だより」第 17 号

# 安心・安全な地域づくり

高田地域には高田中学校地域防災拠点と高田東小学校地域防災拠点の2つの防災拠点があります。毎年数回の検討会議と訓練を行っています。

## ■ 防災マップ



## ○ いっつき避難場所

地震などの災害が発生した場合に、広域避難場所や指定された避難所に集団で避難するために、地区の住民などが一時的に集まる場所です。

避難訓練に参加し、いっつき避難場所と地域防災拠点を確認しておきましょう。

### 高田東小防災拠点

いっつき避難場所から高田東小防災拠点に移動  
避難先に300名が参加



## ■ 地域防災拠点訓練



高田中・高田東小  
両防災拠点合同  
炊き出し訓練



高田小学校東門前  
「緊急給水栓」設営に参加

### 高田中学校拠点

初期消火訓練  
その他、煙体験、担架訓練など  
毎年1年生が実施



## ■ 防犯灯の LED 化 完了

横浜市は、平成21年度より防犯灯の LED 化に取り組んできました。平成26年度からは、防犯灯の維持管理負担を軽減するために、自治会、町内会が所有、維持管理してきた防犯灯14万灯を SCO 事業を活用して LED 化を進めてきました。



電柱共架型 LED 防犯灯



鋼管ポール型 LED 防犯灯

### 高田町内会の取り組み

横浜市の LED 化の方針に呼応して、要請の都度、歴代の防火防犯部長が必要書類を作成、提出し、市担当者による書類確認、現地調査を経て認可された場所は LED 灯に交換することが出来ました。

### 高田町内会の LED 化が完了

平成21年度から平成28年度までで、新設追加を含めて(電柱共架は662灯、鋼管ポール90灯、合計752灯)LED 灯に交換できました。これまでより道路は明るく照らされています。

### 鋼管ポール防犯灯について

高田町内会所有の103本の中で、不具合箇所が有り認可されなかった13灯は現状の蛍光灯のままです。従来通り高田町内会で維持管理することになります。

### LED 防犯灯が故障したとき

LED 防犯灯の不具合を発見した場合は、付近住所・電柱番号・黄色プレートに表示してある横浜市の管理ナンバー等を、担当理事に連絡してください。

防火防犯部長が必要な手続きを行います。

### 富士見台自治会の活動

昭和30年後半頃の高田地区は、まだ家もまばらで高田消防出張所も無く、その周りは田んぼでした。何年かたって家が建て込んで来て、町も活性化して来ると空き巣の被害が時々聞かれるようになりました。高田町内会では防犯活動をしており、富士見台自治会でも班長会議に防犯パトロールの実施をはかり、月1回の防犯パトロールを行う事を決めました。初めは「ハンドマイク」を持ってパトロールをしていました。家の中にいると聞こえないとの声があり、検討した結果、「拍子木」の音が良く聞こえるので「拍子木」を自治会で購入しました。また遠くからでも分かるように「赤色灯」(ガードマンライト)も購入しました。

時々子供さんも参加して、世間話をしながらパトロールを行っています。

「高田町内会だより」第15号



## ■ 防犯パトロール

「地域の安全は地域で守る」という自主防犯意識がパトロールなどの防犯活動を活発化させます。また、継続させることで地域の連帯感が醸成され、犯罪抑止機能が向上します。

自主パトロールの目的は

1. 犯罪・事故・災害の被害を未然に防止する
2. こどもの安全を確保する
3. 地域の皆様の安全に対する関心を高める
4. 地域の連帯感を醸成する
5. 犯罪抑止機能が向上する

などです。特に犯罪抑止は多勢で参加することで効果が上がります。

高田地区連合町内会では、7月、12月に一斉防犯パトロールを実施しています。地域の安全を守るために、皆様方のご参加をお願いします。

「高田町内会だより」第2号

# きれいな街づくり 憩える公園

## ■ 清掃活動

高田町内会には公園が10カ所。他に、高田駅前広場もあります。なかでも高田西公園は、樹木が繁り変化に富んだ公園で、乳幼児がゆったり日差しを浴びて過ごしたり、小学生の元気な声に満ちています。又、四季折々の緑や草花は、子どもたちの情操教育にも良い影響を与えています。

公園を利用される人たちが、気持ちよく利用できるように、それぞれの公園では清掃活動をして下さっている方々がいらっしゃいます。公園のご近所の人たちや、公園を利用するお子さんの保護者の方々など。そして、町内会理事、公園愛護会の皆さんです。

高田中学校では、「『地域とともにある学校』をめざし、地域と一体となって子どもたちを育もうと考え」（「高田町内会だより」第15号）、部活動の生徒や福祉委員会の生徒たちが月1回の西公園清掃に参加してくれています。高田中学校の皆さん、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

## 人が行き交う駅前広場

高田駅を利用する人たちが気持ちよく利用していただくため、高田町内会では、駅前広場清掃活動を行っています。清掃は年3回午前9時から、夏は午前8時30分から行っています。

どこの公園もいつも人手が欲しいと思っています。ご近所の公園へ足を運んでいただき、気持ち良い公園づくりにご協力下さい。



清掃活動を行っている高田駅前ロータリー

## 汗だくの作業！できっぱり

河川愛護月間の7月に、高田連合町内会主催の早淵川側道の清掃活動を毎年実施しています。

参加者は高田町内会理事、地域のボランティアの方々。高田町内会の清掃範囲は御霊橋から中里橋までの側道。作業内容は下草取りとそれをビニール袋に詰め所定の場所まで運ぶのが主です。毎年、太陽が照りつけ猛烈な暑さのなかでの作業となります。汗だくになりますが、作業を終えたあとは爽やかな気持ちになれます。



早淵川側道の清掃



高田西公園の清掃

## 各公園の清掃日

公園名	清掃日	開始時刻(原則)
高田第二公園	随意	
高田第七公園	第1木曜日	午前9時～
高田西公園	第3日曜日	午前8時半～または9時～
高田上耕地公園	不定期	
高田上耕地第二公園	第1木曜日	午後4時～
高田寺谷戸公園	第2か第4日曜日	午前9時半
高田第四公園	第3土曜日	午前8時半～
高田第五公園	第3日曜日	午前8時半～
高田第六公園	第3土曜日	午前8時半～
高田第八公園	第3日曜日	午前8時半～

## 高田西公園にアジサイを植樹

高田町内会創立70周年記念事業の一つとして、高田アジサイ愛好会を発足させ、9月24日(日)に植樹祭を行いました。高田中学校生徒、学童保育所の方、日頃公園を利用されている方、



町内会理事などが参加しました。港北土木事務所の今井様とアオキ・グリーンの青木治様の指導を受けました。

数年後には立派に育ち、アジサイの公園として親しまれることを願いながら数種類125本のアジサイを植えました。

## ■ ゴミ問題への取り組み

高田町内会では「明るい、きれいな町・安全な町宣言」の一環として、ゴミ問題に取り組んできました。

### ー不法投棄への対応ー

高田町は高台にあり、広い空の下に畑が見渡すかぎり続いている、眺望のよい所です。

この場所にゴミの不法投棄が多かった時期があり、住民や町内会が市の協力を得て根絶に向けて努力されました。

このことは、平成10年8月9日の朝日新聞で「不法投棄に新作戦」との見出しで報道されました。それによると、高田町の農道に一般ゴミで出せない家具や扇風機などをはじめ放置自動車もあったそうです。地元や市が看板を立てたり、農地に用のない人への対策として、農道をさくで封鎖しました。又カメラ付きセンサーを二本たてたりしました。結果は、捨てる場所が移っただけで、かえってゴミが増えたそうです。



そこで町内会は、市と一緒に夜間パトロールを午後7時から午前0時まで、車三台に別れて張り込みをしました。



農道をさくで封鎖

この結果、ゴミを捨てに来た人たちを発見し、この人たちは警察署で始末書を書かされたとの事です。

夜間パトロールの一端が分かる町内会に残っている記録を見ますと、10年度から12年度まで年間10回以上行ったことが分かります。

現在の散歩を楽しめる農道は、当時の町内会関係者の、「不法投棄を許さない」という粘り強い取り組みのおかげだと思います。

### ーカラス等による被害対応ー

道や集積所に散らかったゴミ、そこから出る悪臭。これらのことは、長い間悩みの種でした。

古紙・古布の集団回収に対し、横浜市から奨励金が町内会に出ています。この奨励金でネットボックスを購入し、ご希望のあったゴミ集積所に一斉配布しました。

配布の実際 ・平成 25 年 3 月 高田西と高田町  
・平成 25 年 4 月 高田東

狭い道路、通行の妨げになる所では、ネットボックスを設置できず、まだまだ完全な状態ではありませんが、

- ・「カラス被害が減りました」
  - ・「カラスの鳴き声が少なくなり、静かになりました。」
- 等という声をたくさん頂きました。



### ーネットボックスの修理などー

カラスよけネットボックス配布から3年以上たちネットボックスの不具合が出始めたため、「修理交換費用助成金細則」を制定して対応しております。

### ー古紙・古布回収日の変更ー

カラスよけネットボックスの原資となっております、古紙・古布の集団回収について、回収日が分かりにくい、回収日・場所を増やして欲しい等の要望を頂きました。そこで平成29年11月より回収日を、隔週から毎週に変更、回収場所も増やし、より分別しやすく燃やすゴミを減らし、資源回収量が増えることを期待しています。

毎年4月の全体常会では、資源循環局より「ゴミの分別対策」などの講演を行っています。機会がありましたらご出席ください。

これからも皆様方のゴミ問題へのご理解とご協力をお願いします。

## 全体常会での講演

全体常会とは事業運営のため組長・班長、理事を対象に4、6、10、2の各月に開催しています。内容は外部講師による講演と、町内会活動、市関連の施策などについて話し合います。



### ■ ごみ分別対策について

平成26年4月、資源循環局にゴミの分別・減量化の講演をして頂きました。

水分を含んだゴミは、重量があり燃焼効率が悪い事です。わかり易い例として水の入った風船と入っていない風船をライターであぶり、割れる早さでゴミ出しに水切りの大切さと軽量化される事を教わりました。  
「高田町内会だより」第5号

### ■ 女性の視点から考える防災

平成27年10月の全体常会で、市の男女共同参画センター横浜南館長 常光明子氏を迎え、組・班長と理事が研修しました。講演会の内容は次の通りです。



「災害が起きたらまず自分の身の回りの安全な場所を確保する。災害に備えて、支援物資が来るまでの間の3日位を最低の目安に、1人1日3リットル程度の飲料水と非常食を常備する。その他生活用品、医薬品等の備蓄をして、すぐに持ち出しやすい場所に保管しておく事が大切です。女性にとって避難場所生活では特に男女別のトイレや更衣室の確保が必要とされています。子供や女性の安全を配慮して諸施設の設置を行って頂きたいと思います。非常時に女性も男性も不自由な生活をするなかで、人間関係の縁も大切です。」と教えて頂きました。

高田町内会では防災訓練を実施しております。女性も積極的に参加しましょう。

「高田町内会だより」第11号

#### 女性たちがうれしかった支援物資はどんなもの？

##### ●なんといっても衛生用品！

おりものシート  
ハンドクリームや基礎化粧品  
厚めのウェットティッシュ（汗ふき）  
いろいろなサイズの下着  
⇒こんなときだからこそ、心身をケアしたい

##### ●悩みの種は、物資の配り方でした

生理用品を女性全員に1個ずつ配られても・・・  
⇒でもちょっとした工夫や声掛けで解決できます。  
物資配布班に女性を。トイレには同性の付き添いを。



#### 【イメージする力は知ることから】 避難所で女性が困ったことは

心身の落ち着きを取り戻し、生活の再建に向かう時期を過ごす避難所。どんなことに不安や居づらさを感じたか伺いました。



- ひとり暮らしで、ひとりで避難所へ。  
トイレに行くのも心細く、トイレを我慢。食事我慢。
- 家族の心身の世話、介護、避難所の炊き出しすべて一手に引き受けて、疲れ切りました。
- 誰もがいら立ち、混乱しているなかで女性や子どもを狙った性暴力や犯罪の報告も。

掲載資料：(公財)横浜市男女共同参画推進協会より

## ■ 空き巣・振り込め詐欺を防ごう

平成28年6月の全体常会は、港北警察署生活安全課の大貫氏に講演していただきました。

空き巣狙いは在宅中でも狙っています。寝ている時や入浴中などちょっとした時間も注意が大切です。また振り込め詐欺は手口が多様で巧妙化しているそうです。港北区内でも被害がたくさんあるそうです。注意しましょう。  
「高田町内会だより」第13号



港北警察署生活安全課 大貫氏の講演

## ■ 緊急救命心臓マッサージとAED使用について

平成28年10月の全体常会で、港北消防署 高田消防出張所所長 川渕敦氏を講師に迎え、組・班長と理事が表題について研修しました。

心臓マッサージやAEDの使用は大半の方が経験なく、驚きと戸惑いの事ばかりでした。

### 【AEDの使い方は、AEDが指示してくれる】

AEDはスイッチオンすると自動的に音声による指示が出ました。

その後はAEDの指示で操作するので、まずあわてないで行動することが大切です。

4台のAEDを使い、参加者全員が体験しましたが、皆さん熱心に受講されていました。

最後に川渕所長から、「人命だけでなく、火事、事故など皆同じで、怖がらず、行動を起こしてください」と要望されました。

「高田町内会だより」第15号



心肺蘇生練習人形を使って訓練

川渕所長

## ■ お薬との上手なつきあい方

平成29年2月の全体常会はみつばち薬局の田中氏、薬剤師の迫田氏に講演をしていただきました。薬は飲み忘れたからと言って、2回分をまとめて飲んではいけません。次の服用時間までに時間がある場合は、気付いた時にすぐ飲みましょう。

飲み忘れを防ぐために、お薬カレンダーや薬の一包化を利用するのも一つの方法です。

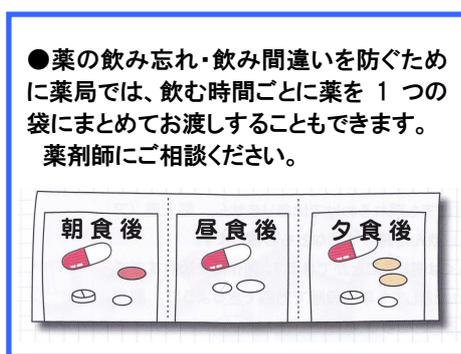
「高田町内会だより」第16号



講演中の様子



お薬カレンダー



薬の一包化

●薬の飲み忘れ・飲み間違いを防ぐために薬局では、飲む時間ごとに薬を1つの袋にまとめてお渡することもできます。薬剤師にご相談ください。

# 会員の交流を願って

## ■ 会員交流会

平成24年度に、当時の内山幹雄会長の発案で約半年間の審議を繰り返し、理事会の承認を得て開催の運びとなりました。

交流会の目的は、日頃 町内会活動でお世話になっている組・班長の慰労の役割と、理事と親睦を深め、町内会活動を理解して頂くという二つの理由でした。それによって町内会活動の参加者が少しでも増える事も願っていました。

### 第1回

記念すべき第1回会員交流会は平成25年2月13日(水)に開催されました。参加者は残念ながらPR不足で20名の少人数でした。

金沢区の横浜市資源循環局の清掃工場見学からスタート。ゴミ処理工場見学は初めての人が多く、巨大な処理施設を興味深く見学しました。昼食は、中華街で中華料理を満喫しました。午後は生麦のキリンビアヴィレッジで、工場ラインを見学し美味しい生ビールを試飲しました。

楽しい日帰りバス旅行は無事終了しましたが、肝心の組・班長の参加者が少なく、どう増やすかという課題を残した交流会でした。

### 第2回



東京スカイツリー

平成25年11月4日(月・祝)の小雨降るなか開催されました。

今回の行き先は東京の新名所、東京スカイツリーです。参加者は、組・班長、また、町内会委嘱団体にも声を掛け、理事をいれて総勢79名。スカイツリー展望デッキ見学、ソラマチで買い物等を行い、浅草に移動、葵丸進にて昼食。日頃なかなか交流がない参加者の皆さんも食事中は、

会話も弾み楽しいひとときを過ごすことが出来ました。その後、浅草寺、仲見世散策をし隅田川船下りなどを楽しみながら一日を無事終了しました。

### 第3回

平成26年11月24日(月)。71名の参加。

快晴の日、テーマパーク巡りと味覚の旅に大型バス2台で、高田駅前を晩秋の千葉に出発。途中海ホテルで東京湾を眺め、三井アウトレット木更津に開店の10時に到着。店が増えて何と248のブランドショップ。規模に驚きました。ヤング層家族連れが多く、高齢者向きでは無いものの目の保養ができました。

その後昼食場所の道楽園に向け館山道を南下。名物の海産物浜焼きを、焼きながらゆっくり堪能。

富山町のみかん狩りでは、傾斜のきつい畑を上下して、たわわに実った中から選び味わいました。



日が傾きかけてから東京ドイツ村に移動。関東三大イルミネーション認定地。幻想的な眺めでした。

「機会があれば参加したい。」と多くの人からの声があり、成功裡に会を催すことができました。

### 第4回

平成27年11月10日(火)。59人の参加。

今回は、小田原方面で大雄山最乗寺とアサヒビール神奈川工場見学。

最乗寺は鶴見の総持寺と同格の曹洞宗の由緒あるお寺。天狗信仰の道場としても有名で巨大な天狗の高下駄が名物のところ。昼食は鈴廣・風祭店。午後はアサヒビール神奈川工場に行き、生ビールの製造過程をゆっくり見学して、出来立ての生ビールの試飲を楽しみました。

### 第5回

平成28年11月21日(月)。参加者は委嘱団体の人も含めて55人でした。

目的地は鎌倉というと、誰しも二度三度遊びに行ったことがある場所でしょうが、改めて文化遺産を見直そうという発想で決めました。

高田駅を9時に発車、一時間でメインの鶴岡八幡宮に到着、何年かぶりにきちんと参拝しました。

改修された若宮大路と人通りの多い小町通りをぶらぶら散歩はとても新鮮で楽しかったです。

昼食は由比ヶ浜に近いレストラン御代川でとりました。その後、高德院の鎌倉大仏と、八幡宮の反対側にあり、非業の死を遂げた護良親王を祀る鎌倉宮・大塔宮を参拝しました。

会員交流会も五回目を迎えて、ようやく会員に行事として浸透してきたようで、参加者から「毎年楽しみにしています」という声を聞くと嬉しくなります。今後も楽しい企画を考えていきたいと思ひます。

## 毎年恒例「納涼盆踊り大会」

### —— 高田小学校生まれの“高田音頭” ——

高田小学校創立百二十五周年記念誌「たかたの丘」に次のように書かれています。

昭和48年PTA委員会で「小学校を主体とする盆踊り大会を企画」し、「高田音頭」を作ること決めました。

#### 高 田 音 頭

高田よいとこ緑の町よ  
森に畑にそよ風吹いて  
青い空にはひばりもたかく  
丘の校舎のポプラが萌える  
春だ春だよみんな来い  
高田音頭で輪になろう輪になろう



高田よいとこ明るい町よ  
土手の坂道子どもが駆けりや  
入道雲に虹橋かかり  
早瀬川の川面が光る  
夏だ夏だよみんな来い  
高田音頭で輪になろう輪になろう



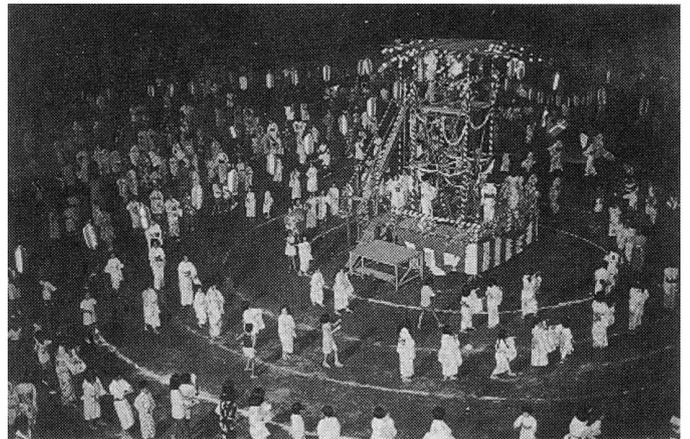
高田よいとこやさしい町よ  
かやの大木ももとせ越えて  
老いも若きもみな手をとれば  
日暮れ鐘鳴るあの興禅寺  
秋だ秋だよみんな来い  
高田音頭で輪になろう輪になろう



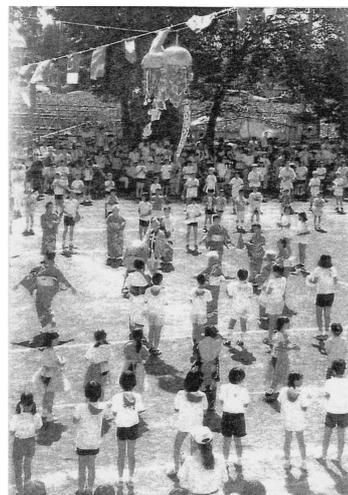
高田よいとこ静かな町よ  
宮の朝もや歴史の落ち葉  
登る階段息はく子らに  
真向かう峰は新雪の富士  
冬だ冬だよみんな来い  
高田音頭で輪になろう輪になろう



歌詞を公募し、2名の方から応募があり、学校の先生の協力できあがりました。歌詞には、高田地区の風物や自然が歌い込まれ、高田の地域紹介になっている感があります。踊りの振り付けは、地元の方をお願いしました。そしてこの年 第一回盆踊り大会がPTA主催で行われました。



第1回盆踊り大会(昭和48年)  
(横浜市立高田小 PTA 発行たかた 120 周年記念号より)



運動会でも踊られていた  
(高田小学校創立 125 周年記念誌  
「たかたの丘」より)

年配の方が「娘に聞いたら『今でも踊れるよ』と言っていた」と話されていました。

当日 子供の時に覚えたお母さん方も輪に入り、踊りのお手本となり踊られていました。

今年の「高田音頭」復活を機会に、郷土“高田”の伝統行事にしたいものです。

## 平成29年納涼盆踊り大会

7月22日開催



幾重にもなった踊りの輪



老いも若きもみな手をとれば～♪



高田東小児童はお揃いのウェア

# 福利厚生への取り組み

## たくさんの人で賑わった「移動動物園」

「高田地区子育てネットワーク会議」主催で、子育て中の親子が集う広場の一環として「移動動物園」を開催しています。町内会では助成するとともに理事が会場清掃、整理などで協力しています。



こどもづれで賑わう高田西公園

平成29年3月12日は、福田牧場・地域ボランティアの協力で開催しました。

子供たちはモルモットやウサギを抱っこしたり、餌をあげたり、ポニーに乗馬するなどとても楽しんでいました。



## 小・中学校入学祝い

お子様の健やかな成長を願うとともに、小学校入学のお祝いとして、記念品にメッセージを添えて差し上げています。

また平成28年からは中学校入学のお祝いも差し上げることにしました。



小学校入学のお祝い品

### 入学お祝い贈呈者数 (人)

	小学生	中学生
平成25年	74	—
平成26年	71	—
平成27年	86	—
平成28年	62	74
平成29年	73	58

## 長寿のお祝い

長年社会に貢献された皆様に敬意を表すとともに、これからも健やかに過ごされる事を願い、満70歳以上の方の1世帯に1記念品を差し上げていました。

### 過去8年間の贈呈者数推移

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
人	887	903	933	963	972	1008	1007	998

しかし近年高齢化が進むなか、これまでの方法では長期的に続ける事が難しくなる事が予想されます。このため平成28年から70歳(古希)以上の節目にあたる希望者に差し上げる方法に変更させて頂きました。また100歳(百寿)の方には記念品とお祝い金にメッセージを添えて会長と担当理事がお伺いして差し上げています。

### 高田町内会で決めた長寿のお祝いの節目と、贈呈者数

(人)

年	70(古希)	77(喜寿)	80(傘寿)	88(米寿)	99(白寿)	100(百寿)	101以上	合計
平成28年	52	93	65	24	7	1	3	245
平成29年	54	75	63	31	2	6	2	233

# 高田町内会 お祝い・弔慰並びに災害見舞規定

改訂年月日 平成 23 年 4 月 1 日  
平成 26 年 4 月 1 日  
平成 28 年 4 月 25 日  
平成 28 年 7 月 5 日

## 1. お祝い

### (1) 長寿のお祝い

- ① 満年齢100歳を迎えた方に、敬老の日にお祝い金を贈る。祝い金 10,000円
- ② 満年齢70歳以上で、節目の年齢(70歳古希・77歳喜寿・80歳傘寿・88歳米寿・99歳白寿・100歳百寿)の方と101歳以上の方に、敬老の日に祝品を贈る。  
但し、一世帯一名でなく、ご夫婦や親子など複数の場合も対象となる。  
祝品の金額・種類は、理事会で決める。

### (2) 入学のお祝い

- 小学校および中学校入学に際して、祝品を贈る。  
入学する学校は国公立に関係なく、又一世帯に複数以上の場合でも全員に贈る。  
祝品の金額・種類は、理事会で決める。

## 2. 感謝状の贈呈

- 永年にわたり 町の美化や安心・安全な町づくりに貢献された方に対し、感謝状と金一封(5,000円)を贈呈する。  
上記以外に町のために貢献された方がいらっしゃった場合は理事会で決める。

## 3. 弔慰

### (1) 会員

- 会員及び会員の同居親族が逝去の場合、ご遺族に対し香典を差し上げる。  
弔慰金 5,000円

### (2) 顧問・現理事

- 顧問及び顧問の配偶者や理事本人が逝去された場合、ご遺族に対し香典をさし上げる。  
弔慰金 10,000円

## 4. 災害見舞

### (1) 火災見舞

- |      |         |      |         |
|------|---------|------|---------|
| 全 焼  | 50,000円 | 半 焼  | 30,000円 |
| 一部焼失 | 20,000円 | 壁面の焦 | 10,000円 |

### (2) 水害見舞

- 床上浸水 20,000円

会員の居住する家屋が、上記の火災や水害にあった場合は、その状況により見舞金をさし上げる。各被害とも警察署、消防署の判定に基づくものとする。

上記以外の災害が発生した場合は、その都度臨時理事会を開催し決める。

但し、東日本大震災のような広域災害等は、この規定の適用外とする。この場合は、関連機関と連携をとって臨時理事会で協議して対応を決める。

## 5. 町内会活動永年従事者(理事)の表彰

- 5期10年(1期は2年)以上町内会活動に従事した理事に、退任時の通常総会で感謝状と金一封(10,000円の商品券)を添えて表彰する。

付則：1～5の事項に変更の必要が生じた場合は、その都度理事会で決める。

# 高田町内会20年史

○印…高田町内会 □…高田地区連合町内会

年度(西暦)	主 な 事 業
平成	
9年度(1997)	○ ゴミ不法投棄防止対策 監視センサー設置
10年度(1998)	○ ゴミ不法投棄防止対策で町内会理事と市職員が夜間パトロール
23年度(2011)	○ 今年度から2日間実施していた「盆踊り大会」を1日に短縮
24年度(2012)	○ 第1回 会員交流会(2/13)清掃工場他 ○ ゴミ集積所のカラスよけネットを、カラスよけネットボックスに変更 3月 高田西(1区)と高田町(3区)に配布
25年度(2013)	○ 4月 カラスよけネットボックスを高田東(2区)に配布 ○ 「高田町内会だより」創刊号発行(7/1) ○ 第2回 会員交流会(11/4)東京スカイツリー・浅草
26年度(2014)	□ 「高田地区防災拠点訓練」 高田中学校と高田東小学校の二拠点に分けて実施 ○ 第3回 会員交流会(11/24)房総方面
27年度(2015)	○ 第4回 会員交流会(11/10)大雄山最乗寺 ○ 高田町内会の全防犯灯調査 防犯灯数確定 ○ 小学校入学祝の他に、中学校入学祝を実施
28年度(2016)	○ 7月 高田研修所に AED 設置 ○ 第5回 会員交流会(11/21)鎌倉 ○ 長寿の祝を節目の年齢に変更(以前は70歳以上)
29年度(2017)	○ 高田町内会創立70周年事業を実施 「高田音頭」を復活させての「盆踊り大会」(7/22) 西公園に紫陽花を「記念植樹」(9/24) 創立70周年記念誌「活動の記録」発行(11/1)



※この年表は今から20年ほど前からの活動をまとめました。

## 編集後記

今回70周年に当たり、町内会活動を会員の皆様により知っていただくと同時に、町内会活動を記録し今後の活動にいかすことを考えました。

内容は、4年間の「高田町内会だより」から主な事柄を取り上げて編集しました。

行事の他に、安心・安全な生活や災害時の対応等を学ぶ「全体常会」での講演、「お祝い・弔慰並びに災害見舞規定」も掲載しました。

## 高田町内会創立70周年記念誌 「活動の記録」

発行日 平成29年(2017)11月1日

発行者 横浜市港北区高田町内会  
代表 会長 宮田寿雄

編集 高田町内会 広報委員会